

ウィキペディア

弥勒菩薩半跏思惟像

弥勒菩薩半跏思惟像（みろくぼさつはんかし（ゆ）いぞう）は、**仏像**の一形式で、台座に腰掛けて左足を下げ、右足先を左大腿部にのせて足を組み（半跏）、折り曲げた右膝頭の上に右肘をつき、右手の指先を軽く右頬にふれて思索する（思惟）姿の弥勒菩薩像である^[1]。日本には大陸より**6世紀**から**7世紀**の弥勒信仰の流入と共に伝えられ、**飛鳥**、**奈良時代**の作品が多く残されている。



中宮寺 木造菩薩半跏像（国宝）

目次

- 1** **広隆寺の宝冠弥勒**
- 2** **代表作例**
- 3** **脚注**
- 4** **関連項目**
- 5** **外部リンク**

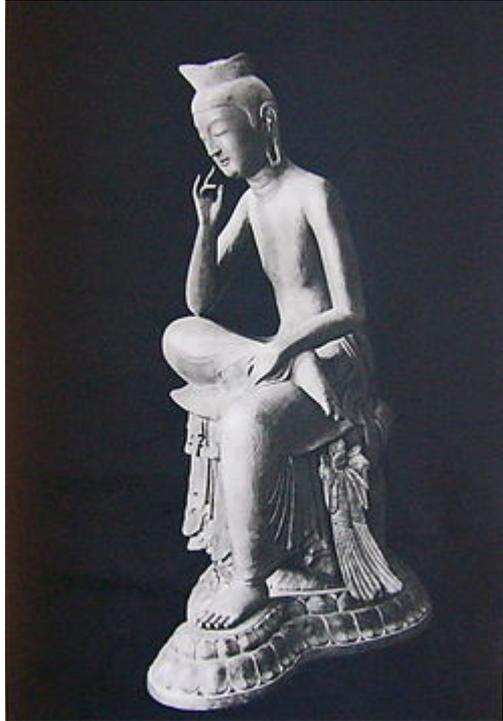
広隆寺の宝冠弥勒

中でも有名な京都府京都市太秦の広隆寺霊宝殿に安置されている「**宝冠弥勒**」（**国宝彫刻の部第一号**）は、右手の薬指を頬にあてて物思いにふける姿で知られる。しかしこの像は、当時多くの仏像が**楠**で造られているのに対して**赤松**で造られているため、『**日本書紀**』記載の推古**31年**（**623年**）に新羅から伝来したものとする説が有力であった。ところが**1968年**、大きく抉られた内繰りの背板に楠材が使用され、背部の衣文もこれに彫刻されていることが判明し、断定できなくなっている。この像の右の腰から下げられた**綬帯**（じゅたい）は、以前から楠木であることは知られていたが、これは後に付加したものとして考慮されていなかったが、二箇所、特に背板に楠材が使用されていることは、楠が朝鮮半島南部に自生しているが、日本での使用例が多いため、日本で造像された可能性も出てきた。

なお、制作時は**漆**で**金箔**を貼り付けた**漆箔像**であった。

ヤニが出にくい**赤松**が素材に使用されているため余分な清掃の必要がなく、清掃作業中の人的過失によって破損してしまうことがなかった。また**赤松**と**楠**という**2つ**の材質の含水率の違いから**熱伝導率**に差が生じ、外部の温度が上昇すると接着部に水蒸気の層が発生する。これが**バリア**の役目を果たすため、高温や急激な温度変化に強い特徴をもつ。これらの理由によって現代まで良好な状態のまま保たれたと考えられている。

弥勒菩薩の微笑みは「**アルカイク・スマイル**」として知られている。またその姿が**オーギュスト・ロダン**



広隆寺「宝冠弥勒」（国宝）

の考える人を想起させることから、「東洋の詩人（フランス語: Poète de l'Est）」との愛称をもつ。

像高123.3cm（足元からの高さ、台座からは約147cm）

代表作例

京都府京都市 広隆寺 霊宝殿 宝冠弥勒 木彫

同 泣き弥勒 木彫

奈良県生駒郡斑鳩町 中宮寺 木彫（寺伝では如意輪観音）

三体とも国宝

大阪府羽曳野市 野中寺 金銅

東京都台東区 東京国立博物館 金銅

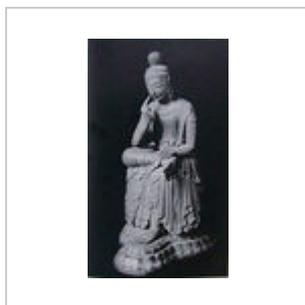
大韓民国ソウル特別市 国立中央博物館 金銅

en:Gilt-bronze Maitreya in Meditation (National Treasure No. 78)

en:Gilt-bronze Maitreya in Meditation (National

Treasure No. 83)

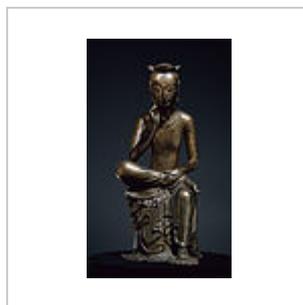
- 中華人民共和国新疆ウイグル自治区クチャ キジル石窟第38窟内壁 壁画



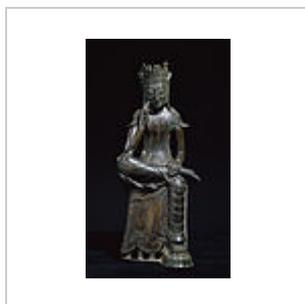
京都 広隆寺「泣き弥勒」



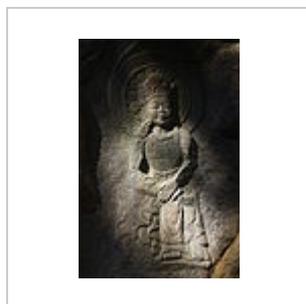
大阪 野中寺（重要文化財）



三国時代、韓国国立中央博物館蔵、大韓民国指定国宝第83号



三国時代、韓国国立中央博物館蔵、大韓民国指定国宝第78号



百濟後期、韓国瑞山市伽耶山（石彫磨崖仏、釈迦三尊像の左脇侍）、大韓民国指定国宝第84号



三国時代、7世紀、メトロポリタン美術館蔵

脚注

1. ^ はんかしいぞう【半跏思惟像】 (<http://kotobank.jp/word/%E5%8D%8A%E8%B7%8F%E6%80%9D%E6%83%9F%E5%83%8F>) 世界大百科事典第2版の解説

関連項目

- 弥勒菩薩
- 広隆寺、中宮寺、野中寺
- 神の雫 - この漫画作品の単行本第20巻において、イタリアの赤ワイン「バローロ カンヌビ・ボスキス（2001）」は広隆寺の宝冠弥勒、「ブルーノ・ジャコーザ バローロ（2001）」は中宮寺木造菩薩半跏像、そしてフランスの赤ワイン「クロ・サン・ジャック（1997）」は広隆寺の泣き弥勒をイメージさせる、と紹介された。

外部リンク

- 日本文化継承研究会 -大和しうるわし- 弥勒菩薩 (<http://www.y-uruwashi.gr.jp/bosatu.html>)
- 仏像netTop-Page> おもしろ仏像> 広隆寺 弥勒菩薩 (<http://butuzou.net/07story/02index.html>)

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=弥勒菩薩半跏思惟像&oldid=66159166>」から取得

最終更新 2017年11月3日 (金) 11:38（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストは[クリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンス](#)の下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は[利用規約](#)を参照してください。